

議会だより

# ワットサム

※「ワットサム」とはアイヌ語でワット（己れの木）・サム（傍）という意味で、わっさむの由来です。

第123号 2026年5月1日



- P 2 新年度予算
- P 10 こんなことが決まりました
- P 12 一般質問 4議員が登壇
- P 16 町民インタビュー聞かせて 猟友会

P 16 今回の表紙

「有害鳥獣との闘い」

# 令和8年度予算総額 66億1,865万円

前年度比 3億4,979万円減 (▲5.0%)

令和8年度の一般会計・特別会計・企業会計予算は、議員全員で構成する予算審査特別委員会（窪田委員長・遠山副委員長）に付託され、3月13日と16日の2日間、慎重に審議しました。（関連3～9ページ）



## 未来につながるまちづくり

中原町長は、町政執行方針の中で「未来につながるまちづくり」を掲げました。持続可能なまちづくりに取り組み、地方創生を推進し元気に輝き続ける町政運営を目指すとして、「子育てと教育にやさしいまち」「家計支援と商工業の振興」など6つの政策課題をあげ、主要政策について述べました。

町長選挙が1月に行われたため骨格予算となり、予算総額は前年と比べて減少しました。

主な新規・拡充事業や注目事業を抜粋して掲載します。

※骨格予算…予算編成時期に首長選挙が行われる際、必要最小限度の経費を計上する予算。



福祉施設整備事業	1億7,000万円
にれの大樹祝金(拡充)	279万円
おでかけハイヤー(拡充)	364万円
有害鳥獣被害対策(拡充)	2,110万円
和寒ふるさとギフト	2,256万円



学校給食費無償化(拡充)	1,236万円
小中学校入学祝金(新規)	62万円
部活動地域展開等推進(新規)	62万円
こども家庭センター(新規)	1,896万円
妊産婦ケア(拡充)	86万円
新生児聴覚検査(拡充)	22万円



8年度予算の詳細は  
広報わつさお4月号を  
ご覧ください



# 福祉施設建設の 透明性確保を求める

## 附帯決議（要旨）

1. 予算委員会の質疑で工期の延長に杭工事も影響があったことも示され、議会に対し改めて全体工期の延長理由を求める。
2. 当初の一括入札から杭工事と建設工事の分離入札へと変更されることも示され、これにより現場経費などの工事コストの増加、建設の統括施行管理の不備、建設後に瑕疵が発生した場合の責任所在についての説明を求める。
3. 社会情勢の悪化などの影響から事業費の増大や工期の遅れなど町民の不安感が高まっており、今後、事業費はもとより入札や工事などに関して議会に適宜書面による説明を行い、事業の透明性確保と町民理解が得られるよう努めることを求める。

※附帯決議…対象の案件（予算案等も含む）について、議会が執行上の意見や要望を表明するもの。



一般会計当初予算を賛成多数で可決した後、遠山議員が附帯決議案の動議を提出し、賛成多数で議事日程に追加し審議しました。

## 討 論

### 賛成



池澤議員

ふくしのまちづくりは総事業費30億円を超える大きな事業で、町民の関心も非常に高く不安も大きい。

事業計画に変更があった場合や進捗状況は、これまで以上に透明性を持って説明していかなければ町民は納得できない。

事業者のゆうゆう、行政、議会、そして町民が共通の認識をもった中で進むことを望む。

### 反対



窪田議員

予算計上に至るまで報告がないことに対し議会軽視だという声も理解できるが、中原町長になつてから今までにはない透明性を感じ取れる。

中原町長は町民への説明をしつかりと担保できると確信し、附帯決議ではなく常任委員会としての必要事項と考える。

反対2 窪田・村岡

賛成6 石田・酒向・池澤

遠山・長澤・斉藤

## 附帯決議に対する

## 町からの回答

1 工期延長の理由について

昨今の社会情勢による諸般の事情から、当初工期での完成は困難であると判断した。また、杭の制作に想定以上の期間を要することも要因である。

2 工事の分離入札について

道補助金の対象事業期間が2か年に限定されており、分離発注により経費の増加は見込まれるが、約2億円の財源確保に資するものである。工事後後に瑕疵が発生した場合、社会福祉法人ゆうゆうが締結する建築工事請負契約約款の条項に基づき対応する。

3 町民理解について

議会へ適宜情報提供を通じて説明責任を全うしていく。また、入札の公平性に配慮しつつ、町ホームページ等で事業の進捗を可視化し、透明性の高い事業執行に努める。

# 工事期間を1年延長

**福祉施設整備事業補助  
(1億7千万円)**

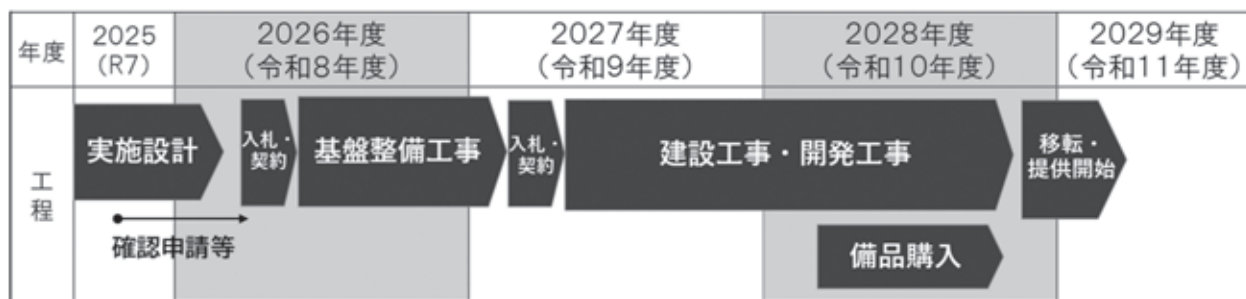
道内の建設工事において、入札不調や工期延長が発生している状況を考慮し、十分な工期を確保するため、建設工事の完成時期は令和9年度末から10年度中に変更します。

実施設計の完了予定は令和8年5月末で、令和8年度には杭工事などの基盤整備の一部を行います。

物価高の影響で建設費の上昇が想定され、基本計画（令和5年10月）時点で総事業費は30億6千万円の見込みでしたが、令和8年1月概算40億5千万円で現在調整中です。

新たな福祉施設は社会福祉法人ゆづりゆづが整備し、運営します。

建設費はゆづりゆづが道からの補助金を活用するほか町が助成し、その財源としては過疎債や基金などで対応します。



▲新たに示された福祉施設の建設スケジュール

**Q** 当初の計画を変更して杭工事のみ実施する理由は。

**A** 道の補助金を受けるには「工期2年」の要件を満たさなければならず、変更前スケジュールでは工期3年になる可能性があり、杭工事を先行する。

杭打ち付けは8〜9か月ほど掛かり、令和9年度から本体工事に入る計画。

**Q** ボーリング調査の結果は。

**A** 2か所調査したところ、流動化・液状化の恐れのある土壌も確認された。

支持層到達までの長さ約16メートル、最大186本の鋼管杭が必要と想定される。

**Q** 杭工事と本体工事を分けると入札が2回必要で、入札不調のリスクもあるが、当初計画から工程に不備があったのでは。

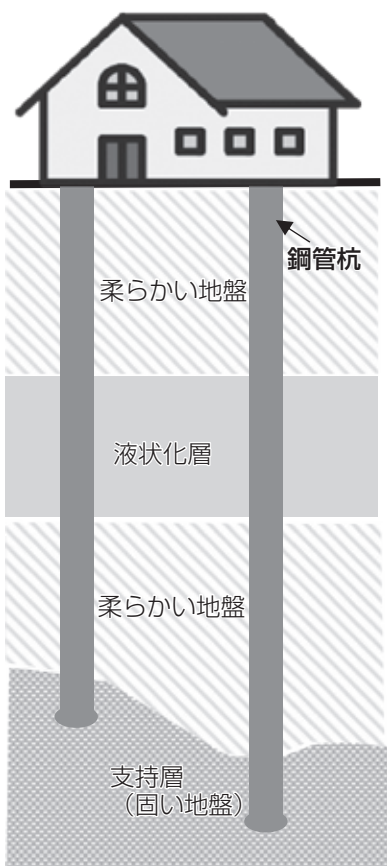
**A** 入札に関しては不調にならないよう進める。

杭工事は業者から10月時点で「5か月」と聞いたが、12月時点で「杭製作に時間を要するため8か月に延長」と聞いた。

行政側としても、苦渋の選択の中でスケジュール変更したことをご理解願いたい。

**Q** 杭工事が延長したことも工期延長の理由に含まれるのか。

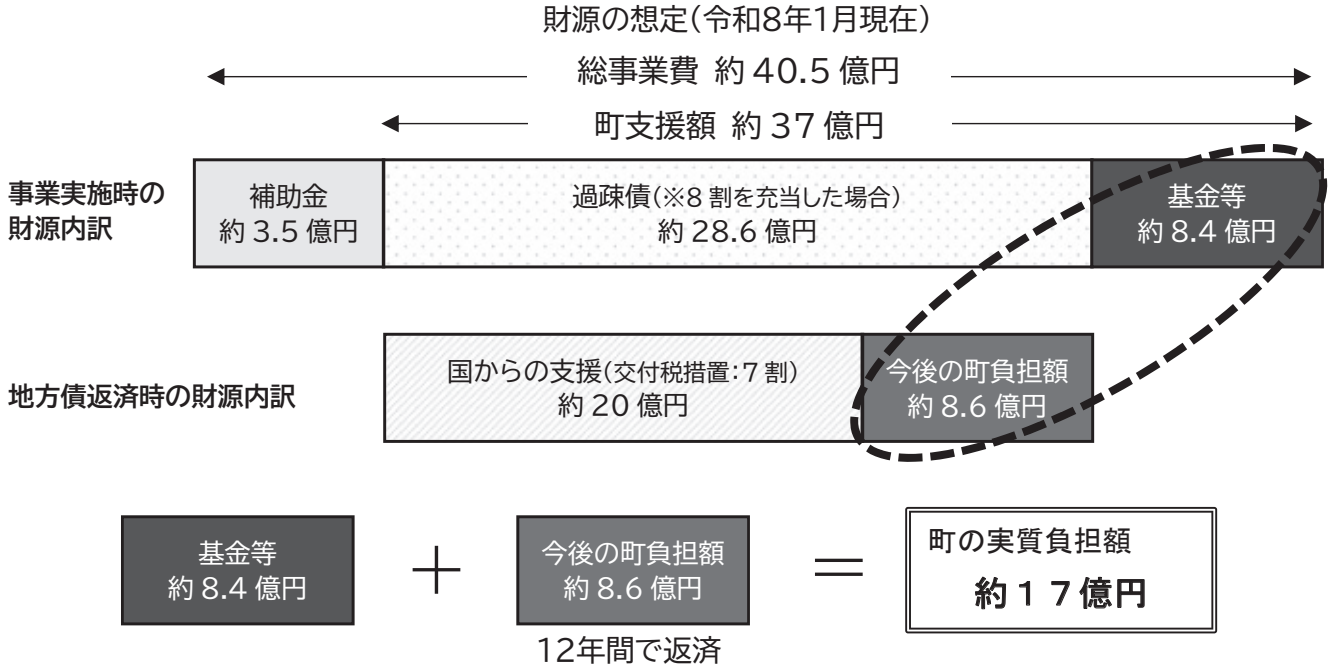
**A** 杭工事期間の延長も要因の一部として考えられる。



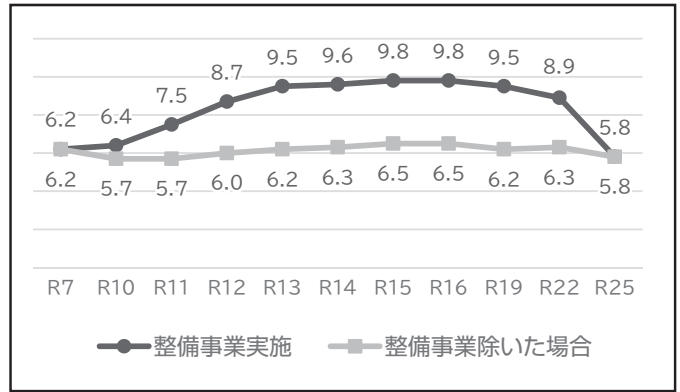
▲ボーリング調査の概要

新たな福祉施設

# 総事業費40.5億円



実質公債費比率のシミュレーション



実質<sup>\*</sup>公債費比率(3か年平均)は、令和11年度以降に上昇する見込みですが、令和15年度のピーク時には9.8%に達します。この数値は令和6年度決算における道内平均9%を上回りませんが、健全な範囲内で推移することが予想されています。将来の財政状況についての見直しから判断すると、整備事業による財政負担は他の住民サービスに対して影響を及ぼさないと考えられます。

**Q** 備荒資金組合積立金は災害等があった場合に備えておくべきと思うが、取り崩す理由は。

**A** 備荒資金組合積立金には「普通納付金」と「超過納付金」があり、今回想定で示した「超過納付金」は制約なくこの事業にも使える基金外の財源。

基金をなるべく残すため、基金より先に備考資金組合積立金を財源として充てる考え。

**Q** 令和8年度予算は骨格予算のため6月補正が多く予想され、財源も心配されるが町長はどう対応するのか。

**A** 今までの経験を最大限に生かし、国の様々な支援事業を活用することにも、歳入歳出含め各事業を見直し、町民の皆様が納得できる体制を考えていく。

※実質公債費比率…町の収入のうち、どれくらい借金返済に使っているかの割合。

# 地域で育む新しい部活動

## 部活動地域展開等推進

(62万円)

国が推進している中学校部活動地域展開の取り組みで、令和8年度から体制を維持しつつ、休日に指導者が確保できる部活動から順次、サポーターバンク登録人材を活用し、指導及び大会引率を行います。

サポーターバンク登録は現在11名で「部活動指導員」「外部指導者」に報酬が支払われます。

R7 和寒中学校 部活動入部状況

開設部		開設部外	
音楽	2	陸上	6
クロカン(兼1)	10	バレー	0
バスケット	10	ソフトテニス	3
野球(兼1)	7	柔道	4
卓球	22	アルペン	3

### 部活動指導員と外部指導者の報酬額

任用の種類	報酬額
部活動指導員	1,600円/時
外部指導者	1,200円/時

※部活動指導員…顧問教諭が不在でも、練習の指導や大会等の引率ができる

※外部指導者…顧問教諭と一緒にあれば、練習の指導や大会などの引率ができる

**Q** サポーターバンクの登録は町職員も可能か。兼業副業の制度は整備しているのか。

**A** 町職員も登録は可能で、報酬も支払う。兼業副業は現在整備している。

**Q** 保護者の金銭的負担は。

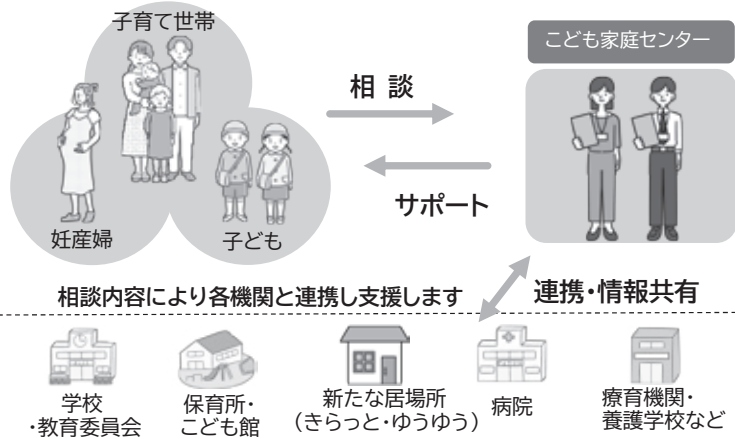
**A** 金銭的負担は掛かると想定される。近隣自治体の情報を集め体制を整えていく。

※サポーターバンク…部活動や地域クラブ活動の指導者を登録、紹介する制度

# 子どもと家庭に安心の仕組み

## こども家庭センター

(1896万円)



改正児童福祉法において全ての妊産婦、子育て世帯、子どもに対し、母子保健・児童福祉の機能が一体的に相談支援を行う機関として、こども家庭センタ

ー設置が努力義務とされたことに伴い「和寒町こども家庭センター」を保健福祉課に設置します。

**Q** 対面では相談が難しい場合もあるので、子ども保護者も相談しやすい環境作りとして、他自治体でも行われているLINE相談を実施する考えは。

**A** 子どもが相談する手段として望ましい面もあるので、先進地事例を勉強し検討する。

## 産後ケア事業 宿泊型追加 (30万円)

従来の訪問型・日帰り型に「宿泊型」を追加します。

**Q** 利用回数の制限は。

**A** 制度利用が1人7回までで、宿泊型を利用した場合1泊2日で2回カウントする。

移動を支える優しいまちづくり

おでかけハイヤー

(364万円)

利便性と利用率の向上を図るため、交付・利用方法等の制度内容を見直します。

助成額は1枚につき500円(上限42枚)で、おつりの出ない範囲で複数枚利用が可能です。



▲制度が拡充されたおでかけハイヤー

**Q** 遠方の方も利用しやすくなるかと考えられるが、数回の往復で上限まで使い切る方もいる。

**A** 利用状況の分析をしっかりと行い、ほしい。

**Q** 今回は、遠方の方も利用しやすいように制度変更したが、変更してから利用者の意見等伺いながら今後も検討していく。

高校通学費支援

(667万円)

**Q** 子育て世代は事業継続を望んでいるが、通学費補助を今後どうするか。

**A** 事業継続していく考え。まだ具体的内容を説明できないが、制度内容の見直しを検討している。

安全と環境を守る地域対策

有害鳥獣被害対策

(2110万円)

エゾシカ捕獲奨励補助頭数を300頭に拡大するなど農作物被害の拡大を防ぐための取り組みを強化し、新たに緊急銃猟を実施する体制を構築します。

また、残雪期の4月から5月末まで春期管理捕獲を実施し、ヒグマの出没抑制を図ります。

**Q** ヒグマの目撃をLINE等で写真やGPS情報を送信すれば迅速に対応できるのでは。

**A** LINEやLOGOフォームが使用可能か研究する。

**Q** 春期管理捕獲の実施場所が「東丘、東和、塩狩、朝日、南丘」となっている理由は。

**A** 道が定める「集落から半径2キロメートル」の場所で設定。

可燃ごみ収集

(1820万円)



▲東和の生ゴミ処理場

**Q** 生ごみの収集方法を変更する理由は。

**A** 生ごみ処理場の施設老朽化と従業員の確保が難しいことから、令和9年3月で受入れを終了し、可燃ごみとして愛別町の施設で焼却処理する。戸別収集についても検討を進める。

# 持続可能な地域作りへの選択

## 自治会推進交付金

(850万円)

**Q** 交付金の段階的削減をしているが、物価高の影響もあり状況に応じた対応が必要では。

**A** 5年間で段階的に交付金を削減するのは決定事項のため途中で変更は難しいが、物価上昇率など勘案し、各自治会の状況も確認しながら今後対応する。

## 地場産業開発事業

(1600万円)

**Q** 商品開発をされる方に対する助成限度額引上げの考えは。

**A** 物価高の影響は理解しているが、限られた利用状況のため検証が必要。商工会と協力し周知徹底を図る。

## 農業活性化センター運営

(2237万円)

**Q** 活性化センターで栽培するホップを使ったクラフトビールは、販売に苦戦していると聞くと、今後の考えは。

**A** 製造から4年が経過し、ホップの収穫が手作業であることやビールを作るのに少量で済むことなどから、今後の方向性について検討している。



▲本町で販売しているクラフトビール

## 一般会計 討論

3月16日予算審査特別委員会

**反対**



石田議員

ふくし構想に関して異論はないが、財政をしっかりとやっていたいただきたいため反対。

**賛成**



酒向議員

実施設計前の予算を通すことに理解できないが、より良いものにしてもらうと信じて賛成。

**賛成**



池澤議員

町民に納得のいく説明ができるよう透明性を持って進めることを求めた上で賛成。

**賛成**



村岡議員

町民生活を支える大事な予算。新たな福祉施設を待つ方々に早く届ける必要がある。

反対2 石田・長澤

賛成6 小野田・酒向・村岡

池澤・遠山・斉藤

## 一般会計 討論

3月17日定例会

**反対**



石田議員

町民のための施設なのか、いまだに掘めなく不安要素が多いため反対。

**賛成**



長澤議員

手順上の懸念が残るが、町民への丁寧な説明と情報共有の継続を強く求め賛成。

反対1 石田

賛成7 酒向・窪田・村岡

池澤・遠山・長澤  
斉藤

## 令和8年度予算審査報告

予算審査特別委員会に付託された予算は、3月17日の本会議で審査報告が行われ、会計ごとに採択し、一般会計は賛成7反対1、3特別会計、2事業会計は全員賛成で可決されました。

## 全議員9名で考える

# 新年度予算の注目点や課題は？

最小の費用で最大の効果をあげることができるか。  
今後、事業が適正に行われているか注視していきます。



酒向 勤議員

### 児童生徒学校給食支援事業で無償化される

子育て支援を充実し、家庭の負担を軽減して生活体験学習などで学力向上を図っては。



石田 利美議員

### 令和8年から民設民営で新たな福祉施設が建設

昨年度決算で公債費率は道内145番だが、令和12年以降は50番以内まで悪化が想定。



小野田 久美子議員

### 健全財政の推進で安定した町民サービス

物価高や社会保障費、人件費、インフラ整備等で歳出が増加。更なる事務事業の見直しを。



池澤 哲也議員

### 有害鳥獣対策、クマ対策 猟友会との連携強化を

年々増加する農作物被害や、クマの目撃情報。地元猟友会との連携で徹底した対策を。



村岡 敏一議員

### ふるさと納税の戦略的取り組みは

返礼品拡充や物価高を考慮した開発費等の要件緩和の必要性と、事業周知徹底も視野に。



窪田 裕一議員

### 「夢が育つまちへ」のまちづくりの第一歩

ふくまち事業は「未来へとつなぐまちづくり」の第一歩。町民に、より一層な丁寧説明を。



斉藤 祐揮議員

### 産後ケア事業の今後に期待

今年度から宿泊型の産後ケアが増えるが、更に手厚い妊産婦ケアの拡充を。



長澤 裕子議員

### 住民と行政 顔の見えるつながりを

新年度の各事業が持続可能な財源に裏付けられ、町民生活に継続して届くかを注視。



遠山 優太議員

### 広がる支援から次の一歩へ

おでかけハイヤー支援の充実を土台に、より使いやすい地域公共交通の仕組みに期待。

子育て支援から始まる新町政

# 学校給食費無償化

## 3月 定例会

第1回定例会を3月4日～3月17日に開催しました。町政執行方針、教育行政執行方針のあと、4名の議員による一般質問の後に条例改正や補正予算等の審議が行われ、全て原案のとおり可決しました。



▲4月8日に行われた和寒小学校入学式 新入生は11名

### 小中学校入学祝金

(62万円)

子育て支援の一環として、家庭の経済的負担を軽減するとともに、入学を祝福し子どもの健全な育成を目的に、小中学校等に入学する子ども1人につき2万円を贈呈する新たな制度を設けました。

### にれの大樹祝金

(279万円)

喜寿(77歳)と米寿(88歳)の祝金等の額を増額します。

### 祝金変更内容 (波線箇所)

- 喜寿(77歳)祝金 商品券1万円分  
⇒現金1万円+商品券1万円分の計2万円
- 米寿(88歳)祝金 現金2万円  
⇒現金2万円+商品券1万円分の計3万円

※百寿(100歳)祝金は現金5万円から変更ありません。

### 学校給食費無償化

(1236万円)

国が行う「学校給食費の負担軽減」制度を拡充し、小中学校の児童生徒の給食費を全額支援することで、物価高騰が続ぎ家計負担が増えている保護者の負担軽減を図ります。

小学校児童分は国と道の支援額を上回る部分、中学校生徒分は給食費全額を支援します。



▲給食の準備をする様子

エコロジー利用料金改正  
賛成6名 反対2名

物価高の影響で、寝具借上り  
げ料や燃料費等の管理経費上昇  
から一般料金を増額します。

令和8年10月1日から料金改正		
	時間使用 (4時間以内)	宿泊料金 (1泊あたり)
町内	5,100円	12,000円
一般	6,400円 ※改正前5,100円	15,000円 ※改正前12,000円

※「町内」とは、利用者・宿泊者全員が町内に住所を有する個人のことをいいます

**Q** 「利用者全員が町内に住所を有する」は、どう確認するのか。

**A** 受付で宿泊者台帳に署名する際に書面で確認する。  
虚偽があった場合の対応は今後検討する。

討 論

**反対**  
遠山議員

町外の方にも広く利用してほしいのに、町外の方の料金を高く設定するのは目的から外れる。

**反対**  
池澤議員

町民には物価高対策等の他制度で優遇しているので、町外からの人を呼び込むことが重要では。

**賛成**  
窪田議員

改正後の施行まで協議の余地はあり、物価高と町民還元の思いは真摯に受け止めるべき。

**賛成**  
村岡議員

全員が町民ではなく、1人でも町外の方がいたら一般料金にすることに異論はない。

**賛成**  
酒向議員

業者が長期滞在して町民が利用できるできない問題もあり、改善を図る上でも差は付けるべき。

わっさむくらし応援給付金  
(5553万円)

物価高の影響により、日常生活における家計費の増大で苦慮されている町民への生活支援と、低迷する町内経済循環の促進を図るため、全町民を対象に1人2万円を現金給付します。  
4月下旬から各戸に申請書が郵送されています。

プレミアム応援券  
(2667万円)

物価高などで落ち込んだ町内経済の早期回復と地域経済の活性化に町民等みんなを取り組み元気を取り戻すため、プレミアム応援券を発行します。

プレミアム率30%の6500円で、販売は8月31日から予定し、町から世帯主へ引換券が郵送されます。

町立診療所 医師1名へ  
診療科目見直し

平成8年から30年間、町立和寒病院、和寒町立診療所の院長としてご尽力いただいた山下昇

史院長の退職に伴い、4月から安孫子所長の医師1名体制となります。

診療科目は、麻酔科とリハビリテーション科を廃止し、内科・小児科・外科の三科に改め、土曜日、水曜日午後を休診にするなど診療体制が変わります。

毎月の診療予定は診療所ホームページでご確認ください。



意見書

生産現場に寄り添った農業政策を求める意見書

提出者 村岡 敏一

意見書は可決し、関係行政省庁に提出しました。

詳細は町ホームページをご覧ください。



# 一般質問 町政を問う。

一般質問とは、議員が町の行財政全般にわたり執行機関（町長・教育長）に疑問点をただし、所信の表明を求めます。まちづくりの指針でもある総合計画の、どの項目に対して質問をしているのか一覧表にしました。



質問議員	第6次総合計画		質問事項
	項目	ページ	
遠山優太議員	—	—	新町政の基本方針と政策の進め方は
長澤裕子議員	高齢者福祉	56	ふくしのまちづくり基本構想推進における町民共有とソフト面の充実は
斉藤祐揮議員	児童福祉	54	未来のために保育所やこども館の建て替えは
池澤哲也議員	農業	40	新町長が掲げる農業政策の実現と将来展望は

○再質問  
学校給食費無償化は、一時的な家計支援なのか、または将来の子育て政策の柱として恒久的な制度化を見据えているのか。

○再質問  
第6次総合計画等と整合性を図り、政策事業の検討と実行を丁寧の説明しながら進める。一部を除き6月定例会以降に具体化できるものから順次、予算化して提案していきたい。

中原町長

町長の公約が、具体的な施策に展開していく上で、諸施策の時期や財源の見通し、成果指標など政策実行の道筋を町民に示していくことが重要と考える。また、6つの政策課題を掲げこれらを着実に推進するための組織体制整備方針と、政策遂行に対する基本姿勢は。



とやま ゆうた  
遠山 優太 議員



## 問

新町政の基本方針と政策の考えは

施策を具体化させ公約実現に努める

## 答

中原町長

乳幼児から高校生までの子育て支援充実を図り、国の動向等を含めて恒久化を目指したい。

○再質問

所施策等を進めるうえで商工業との連携など、町内の経済循環への意識は。

中原町長

戦略的な支援等を検討する。



▲様々な方針について答弁する中原町長

ながさわ  
**長澤**

ゆうこ  
**裕子**

議員




**問**

まちづくり構想の  
共有と体制は

**答**

横断的な体制で構  
想を推進

さいとう  
**斉藤**

ゆうき  
**祐揮**

議員




**問**

保育所建て替えと  
充実した設備を

**答**

必要性を確認し今  
後検討する

ふくしのまちづくり基本構想は、特別養護老人ホームの建て替えにとどまらず、多世代が関わる地域共生の拠点整備と理解する。一方で事業費への関心が集まり、建物完成後に取り組みが始まるような印象もある。

整備を待つのではなく、町民や行政の意識と体制を今からでも整えていくことが重要と考える。構想理念の共有と説明のあり方、整備期間中のソフト面の取り組み、庁内の横断的な推進は。

中原町長

全町民への説明会開催、補助金・過疎債・基金を含めた数字の提示、自治会への訪問説明を順次進める。

また、待つのではなく出向いて支援を届けるアウトリーチ型の取り組みを念頭に進める。



▲新施設整備予定地

○再質問

庁内の横断的な連携を育てていくとともに、本町ならではの顔が見える支え合うまちをつくる拠点としての視点を大切にしたいと考えているか。

中原町長

各課が横断的に課題を出し合い、多様な分野をつなぐまちづくりの視点で構想の実現に向けて進める。福祉にとどまらず、本町の将来を見据えた拠点になると思っている。

保育所は築47年が経過し、増築や耐震改修等を重ねている。子育て世代が安心して預けられるように、乳幼児の入所者数に余裕を持った施設の建て替えは。

現在希望者全員が入所できていて、定員より増えた場合も職員の配置を工夫している。建て替えは将来の課題にしたい。

○再質問

日曜保育実施の考えは。

保健福祉課参事

以前アンケートで60%は「必要ない」と回答され、必要性について確認していく。

○再質問

旭川市「もりもりパーク」などの全天候施設導入の考えは。



▲旭川市子ども向け屋内遊技場『もりもりパーク』

中原町長

ふくし構想において子どもの居場所づくりがあるため、財政状況も考慮し今後検討したい。

○再質問

オムツの自動販売機導入を。

中原町長

あらゆる点を想定し今後検討していきたい。

池澤 哲也 議員



**問** 農業政策の実現と将来展望は  
**答** 大区画化は農業者と一体で進める

新町長が公約で示された農地の大区画化など、農業政策の具体的な取り組みは。

中原町長

大区画化は、先進地の視察を行い情報収集を行っている。

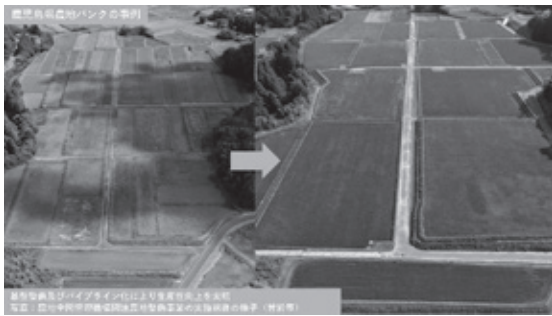
2月中旬には農業委員会、土地改良区、JAや農民連盟など農業者有志による和寒町農地整備事業準備会が立ち上がった。北海道開発局や上川総合振興局の担当者を引き、国営道営事業の制度や事例紹介などの説明会を農業者に向け開催する。

○再質問

行政が先頭に立ちスピード感を持って推進しなければ、この事業は進まないのでは。

中原町長

上川・空知地区の中で、和寒



▲農地の大区画化イメージ

町は遅れをとっている。

国が示した土地改良長期計画案は、初動5年間で農業の構造転換を集中的に進めるため、5年以内に手を挙げて、国営事業に乗れる準備が必要と考えている。今後、準備会と行政が一体となって進め、3月下旬には農水省に出向き、地域としての要望をしっかりと伝える。

モニターの疑問に答えます！

**Q** 和寒町の子育て支援は手厚いって本当？

**A** 町では、妊娠・出産・子育てを切れ目なく支援するため様々な子育て支援を実施しています。

にれっこ祝金…出産された方にお祝いとして10万円支給。

指定ごみ袋支給…3歳未満児がいる世帯に衛生ごみ袋支給。

医療費…高校生まで完全無償

保育料…完全無償

学校給食費…完全無償

海外修学旅行…中学2年生の台湾研修費用を7割補助

高校通学費…半額補助

子育て特別支援給付金…ひとり

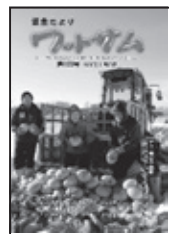
親世帯等へ月5千円支給。

※詳しくは子育て支援ガイドブックをご覧ください。



議会広報モニターの声

議会だより122号  
令和8年2月発行



アンケート  
回答内容



特集記事「地域おこし協力隊」を読んで、住宅関係に課題があると再認識しました。

設備が古くても「リノベーション可」や「ペット可」など選べると良いかなと思いました。



1年間議会広報モニターをやってみて、町のことに関心を持つことができました。

議会だよりを通して一人でも多くの方に関心を持ってもらいたいです。

1年間、議会広報モニターとして活動いただき、誠にありがとうございました。



# 持続可能な地域運営へ

## 自治会連合会

2月26日、自治会連合会（各自治会長）と意見交換会を開催しました。

令和10年に向け段階的に減額される自治会交付金を主軸に、運営上の課題について多くの意見をいただきました。



▲地域の代表として課題に向き合う自治会長の皆様

各自治体の戸数の変化

自治会名	令和2年	令和7年
恵みヶ丘	103	97
大通	207	207
西町	180	107
仲町	170	165
若草	217	185
かたくり	250	217
松岡・北原	63	59
東山	48	40
中和	86	81
三笠南	34	30
三和・菊野	65	54
西和福原	35	25
合計	1458	1267

主な内容として、「交付金が減る一方で事務依頼や寄付の代理徴収負担は変わらず、人財・資金面での負担が増えている」との声も上がりました。

また、人口減少に伴う会費収入減、役員のみならず、敬老会等の負担増、会館の老朽化など地域ごとの課題も含め「現状では収支が取れず、自主事業を減らさざるを得ない」との強い危機感も示されました。様々な意見を町政に反映できるように努めてまいります。

# より良い誌面を目指して

## 議会広報モニター



▲広報誌をもっと良くするためのアイデアが集まりました

3月18日、昨年度から始めた議会広報モニター制度の活動として、モニター5名と意見交換会を開催しました。1年間の活動の振り返りを行い、より良い議会だよりにするための貴重な意見をいただきました。

**Q** 活動を終えての感想は？

**A** 今まであまり読んでいませんでしたが、議会のことや町のいろいろなことが知れて面白かったです。

**Q** モニターアンケートや誌面の内容はどうでしたか？

**A** アンケートはインターネットから簡単に回答できました。誌面の内容は、何度も読み直したり家族で話題にしたりして理解を深めることができました。

**Q** 表紙や町民インタビューの今後の提案はありますか？

**A** 子育て世代としては子どもに関することを知りたいです。和寒町を陰ながら支える人なども良いと思います。



北海道猟友会土別支部和寒部会  
 (会長 二口 哲也さん) が実施した、  
 春の有害鳥獣一斉駆除に同行し、取  
 材させていただきました。

【3月20日取材】



猟友会の発足と現在の  
 会員数は？

発足は昭和55年頃で、  
 会員数はピーク時には15  
 人いましたが現在7人と  
 減少しています。

猟友会の役割は？

分かりやすく言えば、  
 エゾシカによる農作物の  
 被害や、山から下りてく  
 るクマなど野生動物たち  
 の危機から地域を守るこ  
 とです。

年間の捕獲頭数は？

令和7年度は約300  
 頭のエゾシカを駆除しま  
 した。

例年250〜300頭  
 程度は駆除しています。

活動の苦労は？

駆除活動は、日の出か  
 ら日の入りまでと決まっ  
 ています。

日中は、それぞれ勤務  
 や仕事を持っていますの  
 で、活動は出勤前の早朝  
 3時半頃と、夕方5時頃



からとなり時間との闘い  
 もあって大変です。

会員の確保も課題とな  
 っているので、興味のある  
 方は是非猟友会に問い  
 合わせ下さい。

(役場 産業振興課へ)

一斉駆除の成果は？

今回は福原地区でエゾ

シカ7頭を駆除しました。

シカは通常群れで行動  
 していて、多いときには  
 10頭を超える群れに遭遇  
 することもあります。

エゾシカは年に1頭出  
 産し、4年程度で生息数  
 が2倍になると言われて  
 いるので、今後も駆除の  
 継続が重要となります。

有害鳥獣の処理

駆除した鳥獣は東和の  
 処理施設に運び、ハンタ  
 ーが1頭ずつ番号を付け  
 て計量を行い、施設担当  
 者により焼却します。



取材を通して

今回活動に密着させて  
 いただき、有害鳥獣駆除  
 の苦労を実感しました。  
 本業を持ちながら、早朝  
 や休日返上で駆除活動に  
 励んでいただいています。  
 ご苦労に対し感謝はも  
 ちろんのこと、活動に必  
 要な予算確保や会員増加  
 につながる働きかけを強  
 化していきたいです。

広報委員の一言

今では、世界で唯一開催さ  
 れ帯広の地域産業でもある、  
 ばんえい競馬は速さではなく  
 力と粘り、そして心の強さが  
 試される競技です。

重いソリを引きながら何度  
 も立ち止まり、それでも再び  
 一步を踏み出し坂に挑む馬た  
 ち。そのひたむきな姿は、ど  
 んな困難にも諦めず向き合う  
 尊さを静かに教えてくれます。  
 今年は午年。人とともに歩  
 んできた馬のように、私たち  
 も思うように進めない時こそ  
 歩みを止めず一歩一歩を大切  
 に前へ進む大切さを忘れずに  
 いたいものです。  
 (優太)

議会傍聴のご案内

定例会の予定  
 6月16日・17日

みなさまのお越しをお待ちしています

3月定例会の傍聴者  
 16名

